

第7回

日本医療ソーシャルワーク学会 長崎大会

大会テーマ

「医療ソーシャルワークを問い直そう」

～文化の窓口で支援のあり方を考える～

平成28年9月10日（土）～9月11日（日）

【9月9日（金） フィールドワーク：長崎市池島炭鉱見学ツアー】※別途案内

会場：長崎ウエスレヤン大学（長崎県諫早市）

主催：日本医療ソーシャルワーク学会

共催：長崎県医療ソーシャルワーカー協会

後援：長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会
長崎県精神保健福祉士協会、長崎県介護支援専門員連絡協議会
長崎県社会福祉協議会、諫早市社会福祉協議会
長崎ウエスレヤン大学社会福祉学会
長崎県看護協会、長崎県訪問看護ステーション連絡協議会
諫早医師会、長崎市医師会、長崎県医師会
認定NPO 法人長崎在宅 Dr.ネット

<申込み・問い合わせ先>長崎大会事務局

〒854-0031 長崎県諫早市小野島町 2378-2

医療法人祐里会 姉川病院地域医療連携課内

TEL：代表 0957-24-3180

FAX：代表 0957-24-3991



日本医療ソーシャルワーク学会

1. 大会スケジュール

〈1日目〉9月10日(土) 長崎ウエスレヤン大学	
12:00	受付開始
13:00	開会 日本医療ソーシャルワーク学会 学会長 大垣 京子 挨拶 長崎ウエスレヤン大学 学長 佐藤 快信 挨拶 長崎大会大会長 折原 重光 挨拶
13:15~14:15	基調講演 『地域包括ケアと医療ソーシャルワーク』 講師：唐澤 剛先生 (内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官)
14:25~14:45	記念講演 『地域包括ケアシステムにおける医療ソーシャルワーカーの役割』 講師：京極 高宣先生 (日本医療ソーシャルワーク学会顧問)
14:50~15:50	市民公開講座 『診療報酬改定にみる医療ソーシャルワーカーの役割』 座長：和田 光徳先生 (兵庫大学 生涯福祉学部 社会福祉学科) コメンテーター：唐澤 剛先生・京極 高宣先生 シンポジスト：急性期・回復期・療養型医療ソーシャルワーカー
16:00~18:00	研究発表・ポスターセッション
19:00~21:30	懇親会 会場：ホテルグランドパレス諫早
〈2日目〉9月11日(日) 長崎ウエスレヤン大学	
9:00~	受付
9:20~11:50	ワークショップ ①「患者の成長の旅路にお供するソーシャルワーク」 ～外傷後成長 (Posttraumatic growth) について～ ②「連携」 ～人と組織の力をつなぐコーディネートカ～ ③「疾病を抱える患者・家族のQOL向上を目指して」 ～解決志向ブリーフセラピーによる貢献～ ④「大規模災害とソーシャルワーカーの支援を考える」
12:00~12:15	ワークショップ全体会
12:15~12:30	閉会

2. 研究発表・ポスターセッション

9月10日の開催にあたり演題発表を募集いたします。発表者は正会員に限ります(共同研究者においてはこの限りではありません)。※詳細は別紙参照ください。

3. 大会参加申込みについて (事前申し込み要)

申込み用紙に必要事項を記入の上、下記申込み期間内に日本医療ソーシャルワーク学会長崎大会事

務局（姉川病院地域医療連携課）までFAXもしくは郵送にてお申込みください。申込み用紙受信と参加費振込が確認できた時点で受付完了となります。申込み用紙は大会ホームページからダウンロードできます。（学会ホームページ <http://www.ismsw.jp/>）

[参加申込期間] 平成28年8月19日（金）まで

4. ワークショップ（事前申込み要）※ご希望に添えない事がありますのでご了承下さい

①「患者の成長の旅路にお供するソーシャルワーク」～外傷後成長（Posttraumatic growth）について～

講師：関 浩一先生（長崎ウエスレヤン大学/現代社会学部/社会福祉学科）

人類の歴史は、逆境の歴史といっても過言ではないほど、苦難に満ちあふれています。一方、かつてより、宗教や文学のなかでも、「逆境が人を成長させる」という言葉も語り継がれてきました。患者が経験する病も逆境に他なりません。大きな苦しみが伴いますが、なかには、苦難を通して、人生観が変わり、新しく生まれ変わる方もおられます。人生上の困難な出来事から成長すること。これは、外傷後成長（Posttraumatic growth）と称されおり、近年、注目を集めるようになってきました。この、ワークショップでは、外傷後成長について、成長に至る過程について、ソーシャルワーカーとしてどのように患者の成長に寄り添うのか。以上のことを中心に話題提供したいと思っております。皆様のお越しを楽しみにしております。

②「連携」～人と組織の力をつなぐコーディネーター～

講師：橋本 康男先生（公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構 地域医療支援センター部長）

「連携」はそれ自体が目的なのではなく、めざす目的がありそれを実現するために多様な人や組織が協力した結果として生まれるものです。このワークショップでは、「どうすればいいのかわからないのか」の前に何をめざすのかを現場の課題から考え、変化を生み出す難しさを理解した上でそれにチャレンジすることの意義を一緒に考えていきます。目の前の課題に対して真摯に向き合うとともに、社会の変化にも目を向けて、周囲の人や組織と協力し同じ方向に向かって取り組む力をめざします。

③「疾病を抱える患者・家族のQOL向上を目指して」～解決志向ブリーフセラピーによる貢献～

講師：児島 達美先生（長崎純心大学人文学部人間心理学科/同大学地域連携センター）

近年、生物医学の進歩とともに、多くの難治性疾患における延命率の伸びには著しいものがあります。しかし、それは同時に、患者・家族に疾患を抱えての長きにわたる生活を強いることとなります。こうした現状において、国レベルでも、患者・家族のQOL向上を目指した心理・社会的支援の重要性を指摘しています。そこで、本ワークショップでは、その一助となるべく、クラインマンの「疾病と病いモデル」を理論的な枠組みとしながら、臨床実践の一つの方法として解決志向ブリーフセラピーと称する面接技術一端を紹介したいと思います。

④「大規模災害とソーシャルワーカーの支援を考える」

講師：山館 幸雄先生（社会医療法人 みやま会 盛岡観山荘病院）

私たちソーシャルワーカーは大規模災害時にどのような支援ができるのか。これは阪神淡路大震災や東日本大震災など過去の大規模災害時にも我々に突き付けられた課題でした。その課題に対して明確に答えを示せない中で、今回熊本・大分で大規模な地震が起きてしまいました。地震国日本では、またいつかどこかで大規模災害が必ず起きると考えて、日頃から準備をしていかなければなりません。そこで、今回は、①災害が来る前にMSWがやるべきこと、②ネットワークの構築、③エンパワメントにもとづく被災者支援・支援者支援の方法

について考えたいと思います。

5. 大会参加費・懇親会費について

大会参加費等は下記のとおりです。同封の振込用紙をご利用いただけます。事務処理の都合上、同じ所属でもお一人ずつ手続きの上、当日振込控えをご持参ください。

参加費

日本医療ソーシャルワーク学会正学会員・準学会員・・・5,000円
長崎県医療ソーシャルワーカー協会会員・・・・・・・・・・5,000円
非学会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7,000円
学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,000円
懇親会費(参加者のみ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・6,000円

長崎大会専用口座 学会会費口座と異なりますのでご注意ください。

ゆうちょ銀行 記号17630 番号25828231

口座名称：日本医療ソーシャルワーク学会 長崎大会

(二ホンイリョウソーシャルワークガッカイナガサキタイカイ)

他の金融機関から振込される場合は次の内容をご指定下さい。

【店名】七六八(読み ナナロクハチ)

【店番】768【貯金種別】普通預金【口座番号】2582823

注意事項：口座名義と申込者名が異なる場合入金の確認ができませんので、**必ず申込者名での振込をお願いします。**

振込手数料は各自でご負担ください。

受付完了後、原則としてキャンセル・返金には応じかねます。

6. 会場アクセス

長崎ウエスレヤン大学

〒854-0082 長崎県諫早市西栄田町 1212 番地 1

電話：0957-26-8279



- JR 諫早駅より
・バスで約 10 分「破籠井」行き乗車「西栄田」下車 料金/140円
・タクシーで約 5 分 料金/約 720円
- 長崎空港より
・バスで約 40 分「諫早駅前」行き乗車「諫早駅前ターミナル」下車 料金/610円
・タクシーで約 30 分 料金/約 4,000円